

+

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10-(6)	家族等の面会時に日頃の状況を報告しながら意見や要望を伺っている。意見や要望があった時は会議にはかり、職員間で共有を図り共有化を対応している。	ご家族に対し定期的に施設の状況報告を行いグループホームでの生活状況を把握して頂く。それにより、ご家族の積極的な意見や要望を聞くことができる。	法人広報誌のない月を目安にグループホーム独自の機関紙を発行し、施設の状況を報告する。その中で、ご家族の参加や意見等を求めていく。	12ヶ月
2	26-(10)	個別支援を重視しているが計画内容が一様化している。	十分なアセスメントを行い、個別支援を重視した計画書を作成する。	アセスメントの見直し、本人・家族の意向や協力医の助言をもとに介護計画を作成する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月